



「広報」 たかなべ

KOHO TAKANABE

2025
7
No.455

ますびコレクション

高鍋町美術館 JAPAN 展



日本の美と人間国宝のわざ



2025年

7.19^土 ▶ 8.31^日

左から 龍虎図（部分）（1899年）橋本雅邦 / 三保の不二山（部分）（1948年）横山大観 / 梅下佳人（部分）（1924年）上村松園
すべて行橋市増田美術館蔵



観覧料：大人 1000 円

小中高生・70歳以上・障がい者 500 円

未就学児と高鍋町在住または高鍋町内の学校に
在籍する小中高生および特別支援学校生は無料！

休館日：月曜日（祝日は除く）

祝日の翌日（土日は除く）

高鍋町美術館
TAKANABE MUSEUM OF ART

☎0983-23-8887



消防団操法披露会・防災特集

発行：高鍋町

TAKANABE 日本の美と人間国宝のわざ

『ますび』という愛称で知られる行橋市増田美術館（福岡県行橋市）は、京築地域（福岡県東部の地域）で活躍した実業家である増田博氏が設立した私設美術館を前身とした市立美術館です。横山大観、上村松園、岸田劉生などの絵画作品や、富本憲吉や河井寛次郎、北大路魯山人ら陶芸史に足跡を残した作家による陶磁器作品など、466点を所蔵しています。

本展では、明治から現代にいたるまでの日本を代表する近現代の画家、陶芸家らによる珠玉の名品を通して、日本美術への理解を深め、輝き続ける魅力に迫ります。

増田 博

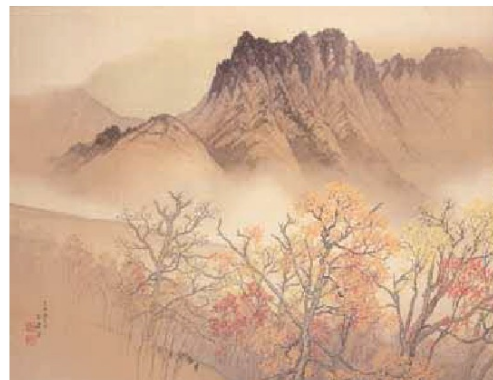
1923年、福岡県京都郡に生まれる。剣道家に憧れ、国士館専門学校（現・国士館大学）剣道科に入学。卒業後、剣道指導のため北海道へ渡る。帰郷後は剣道の地域発展に尽力。生計を立てるため、土木建設事業を始め、その後、株式会社増田組（土木建築業）のほか、運送業、不動産関連事業の会社を設立。生涯にわたり、美術品の収集活動をおこなった。2019年、美術品や増田美術館を行橋市に寄贈したことをうけて行橋市名誉市民第1号となる。2021年、没。



龍虎図（1899年）橋本雅邦

〔出展作家〕

上村松園 河井寛次郎
岸田劉生 北大路魯山人
富岡鉄斎 富本憲吉
濱田庄司 東山魁夷
平山郁夫 福田平八郎
など



林巒深秋図（1927年）川合玉堂



備前土茶碗（1950年～1952年頃）
北大路魯山人

特別展開連イベント

行橋市増田美術館館長によるミニレクチャー

8月3日（日）午前11時～午前11時半
講師：川端晴奈氏（行橋市増田美術館館長）
会場：高鍋町美術館 エントランス
定員：20人
参加費無料・要電話予約（☎0983-23-8887）

行橋市増田美術館学芸員によるミニトーク

8月3日（日）午後2時～午後2時半
講師：神崎美紀氏（行橋市増田美術館学芸員）
会場：高鍋町美術館 企画展示室
定員：20人
参加無料・要電話予約（☎0983-23-8887）

高鍋町美術館学芸員によるギャラリートーク

7月27日（日）・8月11日（月・祝）・8月23日（土）
午後2時～午後3時
会場：高鍋町美術館 企画展示室
参加無料・予約不要

高鍋町美術館
TAKANABE MUSEUM OF ART

お問い合わせ
TEL 0983-23-8887

タカナベ町消防団 代表操法技術披露会

6月28日、高鍋商工会館駐車場周辺にて、「高鍋町消防団代表操法技術披露会」が開催されました。

梅雨明けの晴天の下、各部から選抜された16人が、小型ポンプ、小型ポンプ積載車、ポンプ自動車の各部門の代表チームとして出場し、見事な操法を披露しました。

会場周辺では、消防団および東児湯消防組合による、消防・救急車両及び資機材の展示が行われ、消防資機材をはじめ、地震などの大規模災害や水難救助などで活躍する救助資機材なども並び、記念撮影を楽しむ来場者の姿も多く見られました。また、子どもたちを対象として消防機材を用いた消防体験コーナーでのスタンプラリーも実施し、ホース投げや消火器の操作など、消防機材を用いた体験も喜ばれていました。

各部門代表チーム



小型ポンプの部

指揮者 第9部 沖田 和也
1番員 第2部 齊藤 奈寿
2番員 第6部 鈴木 一馬
3番員 第8部 佐藤 皓杜
補助員 第10部 小野 泰視



小型ポンプ積載車の部

指揮者 第7部 房野 弘太郎
1番員 第11部 黒木 隆正
2番員 第5部 池田 欣樹
3番員 第12部 小野 嵩登
補助員 第13部 松田 陽輔



ポンプ自動車の部

指揮者 第1部 椎葉 景虎
1番員 直轄部 城間 翔太
2番員 本部 宇田須 友嘉
3番員 第4部 金田 真輝
4番員 第3部 有村 祐太
補助員 第1部 福島 知之



防災特集 災害への備えは万全ですか？

台風が多く発生する季節がやってきました。大きな災害は、ある日突然、私たちの暮らしを脅かすことがあります。いざというときに自分や家族を守るためには、日頃からの備えが欠かせません。この機会に、災害への備えをもう一度見直してみましょう。

洪水や土砂災害に関する防災情報

自治体や気象庁などから発表される防災情報は、次の5段階の警戒レベルで提供されます。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
<警戒レベル4までに必ず避難！>			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示（注）
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 （気象庁）
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 （気象庁）

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである
 （注）避難指示は、現行の避難勧告のタイミングで発令する

**高鍋町災害時
タイムライン**
 高鍋町での避難
 情報の発令基準と
 対象の地域住民の
 行動などを分かり
 やすく図表にまと
 めています。



避難の備えはできていますか？

「非常用持ち出しバッグ」は準備していますか？

非常時に持ち出すものを
 バッグなどに入れて準備し
 ておき、すぐに持ち出せる
 ようにしておきましょう。

非常用持ち出し
 バッグの内容例



避難所の場所は確認していますか？

避難所や避難ルートを事
 前に確認しておきましょ
 う。災害時の避難所開設状
 況や混雑状況は、リアルタ
 イム空き情報配信プラット
 フォーム『VACAN（バカ
 ン）』で確認できます。

「VACAN」への
 アクセスはこちら



正確な情報を集められるようにしましょう！

高鍋町公式 LINE アカウント

必ず配信する緊急情報（災
 害・防災情報など）に加え、
 受信設定を行うことで、地域
 安全情報や健康情報などから
 受信したい情報を選ぶことが
 できます。

【登録方法】

二次元コードの読み
 込み、またはID検
 索で「@takanabe」
 と検索して友だち登録。
 ※登録後は受信設定をしてく
 ださい。



高鍋町メール

地震、津波、洪水など、防
 災に関する重要な情報を迅速
 かつ確実に受信することがで
 きます。

【登録方法】

二次元コードを読み
 込み、手順に従って
 登録。
 または、下記メールアドレス
 に空メールを送り、返信され
 たメールに記載されている手
 順に従って登録。



t-takanabe@sg-m.jp

防災行政無線戸別受信機

自然災害による被災が想定
 されている区域に該当し、か
 つ、防災行政無線の屋外スピー
 カーからの放送を聴くことが
 困難と認められる地域にお住
 まいの方（世帯）に対し、防
 災行政無線放送を屋内で聴く
 ことができる戸別受信機の無
 料貸し出しを
 行っています。



【問い合わせ先】
 危機管理課 危機管理係
 ☎0983-26-2022

「ハザードマップ」を活用しよう！

〇お住まいの地域の被害予想を確認しましょう

ご自宅や職場、お子さんが通う園や学校の場所を確認し、地図上に印をつけ
 ましょう。その場所が災害の被害想定区域に含まれているかをチェックし、
 該当している場合は、どのような災害が発生しうなのか、またどのようなリ
 スクがあるのかを事前に把握しておくことが大切です。



〇災害時の避難場所を確認しましょう

災害の種類ごとに避難経路や避難場所が異なる場合があるため、洪水や地
 震など状況に応じた避難場所・避難ルートを確認しておく必要があります。



高鍋町ハザードマップ
 はこちら

〇職場・学校からの帰宅経路も想定しましょう

災害はいつどこで発生するか分かりません。自宅周辺だけでなく、日中に
 過ごすことの多い職場や学校からの帰宅経路も確認しておきましょう。外出
 先で被災した場合に備え、複数のルートや連絡手段を考えておくことが、い
 ざというときの安心につながります。



高鍋町のハザードマップが多言語対応に！

広報紙閲覧用アプリ「Catalog Pocket（カタログポケット）」では、日本
 語を自動翻訳し、英語・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）・韓国語・タイ語・
 ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語で読むことがで
 きます。

カタログポケットの詳細は6・7ページで！



便利！

かんたん！

広報紙閲覧サービス「カワロブポケット」で いつでも どこでも 高鍋町の広報紙が読めます！

高鍋町では、広報紙閲覧サービス「Catalog Pocket(カタログポケット) 」を導入しました。「カタログポケット」は広報紙をスマートフォンおよびPCから無料で閲覧できるサービスです。

「カタログポケット」で広報紙を閲覧すると、大きな文字で読みやすくなるほか、音声読み上げ機能、多言語自動翻訳などの機能が利用できます。

この機会に、ぜひカタログポケットで『広報たかなべ』を読んでみませんか。

※カタログポケット内で閲覧できるのは、『広報たかなべ』『議会だより』は令和7年5月号以降、『お知らせたかなべ』は令和7年7月4日以降に発行された号のみになります。

アプリの
ダウンロード
方法

App Store か Google Play から「カタポケ」と検索、または QR コードをカメラで読み取り、アプリをダウンロード！



プッシュ通知で
発行がわかる！

マイコンテンツに登録すると、広報紙の発行のお知らせを受け取ることができます。

大きな文字や
読み上げ機能で
誰でも読み
やすい！

テキストをタップすると、見やすい書体で大きく表示されます。また、読み上げモードに設定し、本文をタップすると自動音声で読み上げます。

日本語を
含めて 10 言語
に対応！



日本語を自動翻訳し、英語・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）・韓国語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語で読むことができます。※自動翻訳のため、正確に翻訳されない場合があります。



カワロブポケット



を始めてみよう！

ダウンロードが完了したらアプリを起動しましょう。

- ①「START」の画面になるまで左方向にスワイプまたは矢印マークをタップ
- ②「START」をタップ
- ③ 位置情報「許可」・通知送信「許可」をタップ

アプリの
初期設定



高鍋町の
広報紙を
探す・読む

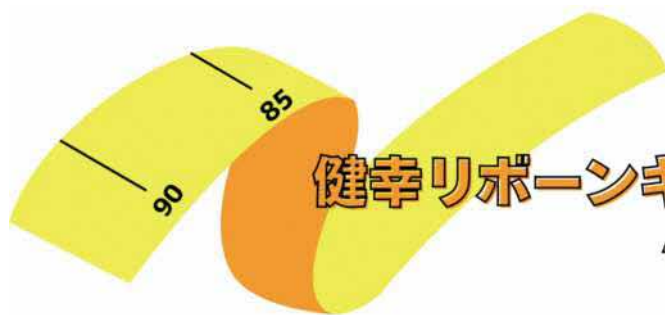
- ① 虫眼鏡マークの「検索」を選択
- ② 「高鍋町」と入力し決定
- ③ 見たいコンテンツを選択
- ④ 「マイコンテンツに追加」を選択
- ⑤ 「日本語で読む」を選択 ※他の言語で見るときは、下段の対応言語から選択してください。



詳しくはこちら

*iOS の場合





健幸リボンキャンペーン “Reborn”

健幸リボンキャンペーンとは？

メタボリックシンドローム対策として、腹囲－2 cmを目指し、3 か月間腹囲を測定してもらうイベントです。腹囲が気になる方は、この機会に参加しませんか？

参加対象者

40～74 歳の町民 かつ 腹囲（へそ周り）が基準値（男性 85 cm・女性 90 cm）を超える方。

リボン配布期間

8 月 1 日～10 月 31 日 ※リボンを受け取ってから 3 か月間取り組みましょう。

実施方法

①リボンを国保・高齢者医療係で受け取り、3 か月間、ご自宅で週 1 回以上腹囲を測り、－2 cmを目指しましょう。

②①を実施した後に、健康保険課 国保・高齢者医療係にアンケートを提出してください。

※①のみの参加も可能です。②まで実施した方には、粗品をプレゼントします。

※このキャンペーンに参加した方は、9 月から始まるたかなべ健康チャレンジのポイントも加算されます。

メタボリックシンドロームとは？

メタボリックシンドロームは、内臓肥満に高血圧、脂質異常、高血糖などが合わさった状態をいい、下図のような診断基準があります。

内臓脂肪からアディポサイトカインという物質が出て、血圧・糖・脂質に悪影響を及ぼします。そのため、内臓脂肪が必要以上に増えると「動脈硬化」が進行し、心臓や脳などの重大な病気を引き起こしやすくなります。逆に、内臓脂肪を減らすことで、血圧や血糖値などの改善が期待できます。

メタボリックシンドロームの診断基準

必須項目

腹囲周囲径

男性 85 cm 以上

女性 90 cm 以上

※内臓脂肪面積 100 cm² 以上相当

選択項目 (2 項目以上該当)

中性脂肪 150 mg /dl 以上

かつ / または

HDL コレステロール 40 mg /dl 未満

血圧

130mmHg/85mmHg 以上

空腹時血糖

110mg/dl 以上

お問い合わせ・お申し込み
健康保険課 国保・高齢者医療係
☎0983-26-2007





Takanabe Town NiNOMARU Museum of History and Education

「二ノ丸文教歴史館」が国際デザインコンペ
「A' Design Award & Competition2025」
A' Cultural Heritage Design 部門で金賞を
受賞しました！

令和6年12月にリニューアルオープンした高鍋町歴史総合資料館（愛称：二ノ丸文教歴史館）が、国際的なデザインコンテストで金賞を受賞しました。リニューアルされた展示は“人づくり、国づくり”をテーマに、高鍋藩の歴史や先人たちの知恵を物語や資料を通して伝える構成となっており、その空間デザインと理念が高く評価されたものです。「いつの時代も、国の未来は人だった」というキャッチコピーに込められた思いのとおり、当施設はこれからも、地域の歴史を学び未来を考える場として、そして世代を超えて人が集う場を目指していきます。

「A' Design Award & Competition」について

A' Design Award & Competition は、優れたデザイナー、デザイン、製品、サービスを選ぶ世界最大級のデザインコンペティションです。約100か国のデザイナーが参加しており、賞には、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズ、アイアンと5つのランクがあり、各カテゴリーの優れた作品に贈られます。

梶友宏さんのコメント



「高鍋では、学者ぶるな。」という言葉に象徴されるように、高鍋町は、実践知を重んじる教育の風土によって、その歴史を形づくってきた。近世における藩主・秋月家は、幾度にもわたる政情の変動の中にあっても、民の暮らしと未来を見据え、人材育成に一貫して力を注いできた。その姿勢は、今日の高鍋町が掲げる「歴史と文教の城下町」というビジョンに結実している。

本プロジェクトはまた、地域に根ざす誇り＝シビックプライドの回復にもつながる取り組みであった。単なる展示の更新にとどまらず、過去の歴史的コンテキストを読み解き、そこから未来に伝えるべき価値を抽出・構造化するという、時間を横断するデザインの実践である。地域の記憶と文化資源をいかに再編し、共有知として提示するかという課題に対し、空間デザインと編集のアプローチから応答した本取り組みが、国際的に評価されたことに大きな意義を感じている。同時に、本プロジェクトは、資料の保存・展示という従来の資料館の役割を超えて、「歴史を通じて人が交わる場」としての新たな可能性を拓く出発点となった。



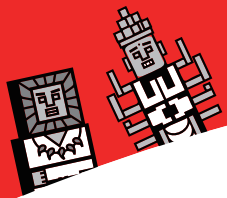
営業時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時半まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土日祝を除く）、年末年始（12月28日～1月4日）

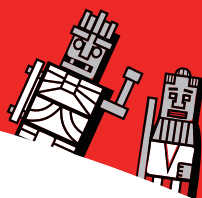
料金：大人：210円 ※団体（20名以上）の場合170円

小中高生、高齢者（満70歳以上）、障がいのある方と同伴者：100円 ※団体の場合80円

小学生未満：無料 ※土曜日は町内の小中学生無料



高鍋町 地域おこし協力隊



7月に着任した3人をご紹介します！

アートによるまちづくり

芸術を活用して地域の活性化や魅力向上を図ることを目的とし、地域の特色を反映した作品の制作やまちなかへの展示等、アートを通じて地域の個性を引き出し、人々を引き寄せることで、地域の持続的な発展を目指して活動していただきます。



さいとう よしみさん 東京都出身

これまで絵や陶芸作品の制作などを通じて自己を表現してきました。高鍋町に生活の拠点を移すことによって、これまでとは違う作品が生まれてくるのではないかと思います。アートを通じて町の様々な年代の人たちと関わり、高鍋町の魅力を発信していきたいです。



市川 寛さん 神奈川県出身

ランドスケープデザインとアートを通じたまちづくりの経験を生かし、高鍋町に貢献したいと考えています。文化と自然が豊かに交差するこの地ならではの魅力を活かし、高鍋町でしか生まれない作品 / プロジェクトを地域の皆さんと共に創り上げたいです。

＊ランドスケープデザイン：屋外空間の景観を設計・計画すること。



移住コーディネーター

移住希望者に対し、地域情報の提供や移住相談等の充実を図るなど、移住全般に関する支援を行う仕事です。まちの魅力に関する情報発信に加え、地域の移住者間のコミュニティづくりや交流事業の実施などを通して、多方面から高鍋町の移住・定住促進に尽力していただきます。



酒田 亜弥子さん 大阪府出身

移住相談、イベント開催、移住者のネットワークづくりを担当します。自身の出戻り移住体験を活かし、スムーズに移住ができるよう受け皿を用意したいと思います。また、移住して環境が変わる事から困りごととはつきもの。出戻りなので他町民と違う高鍋町民の特性をアピールしつつ、必須である地域の方とのネットワークのパイプ役になればと思います。

地域おこし協力隊専用サイトでは、**隊員ブログを更新中！**

高鍋町の地域おこし協力隊員の紹介や募集情報に関する情報発信を中心に更新！
隊員ブログでは、隊員自ら執筆した記事を掲載しています！



WELCOME

TAKANABE

高鍋 GADORO 駅 II

高鍋町出身で、高鍋町ふるさと応援大使も務めるラッパー・GADORO さんの日本武道館でのワンマン公演を収めた映像作品『四畳半から武道館 at 日本武道館』および最新アルバム『HOME』の発表を記念し、高鍋駅交流拠点施設では「高鍋 GADORO 駅」として期間限定の特別展示が行われています。

今回の企画は、令和 5 年の高鍋城灯籠まつりへの出演にあわせて初めて実施された企画に続く第 2 弾。会場では、武道館公演の様子をはじめとする貴重な写真や私物、グッズなどが展示されています。また、GADORO さんへのメッセージを書き込めるノートや、来場者が出身地にシールを貼れる日本地図も設置されており、多くのファンがその足跡を残しています。

会 場：高鍋駅交流拠点施設（高鍋町大字蚊口浦 5854 番地 1）

展示期間：6 月 25 日（水）から 7 月 21 日（月・祝）まで

※多目的スペースは午後 7 時から翌日午前 9 時まで施錠されます。



高鍋高校 NABEGO の活動を紹介！

高校生によるまちづくりチームが活動中！

まちづくりチームである「NABEGO」は高鍋駅や蚊口浜を中心に、高鍋町のまちづくりを「自分ごと」として盛り上げていく—そんな思いを胸に、2024 年 7 月に株式会社イツノマと高鍋高等学校の生徒たちで結成されました。現在のメンバーは 14 人。少しずつ仲間が増え、活動の輪が広がっています。

参加のきっかけを聞いてみると、「先生に勧められて参加しました。以前から子どもたちを喜ばせたいと思っていて、活動を通して実現していきたいです。」「新しい居場所がほしくて参加しました。何でも話し合える場や、地域の方との会話が楽しいです。」と、それぞれの想いを語ってくれました。

「かぐちの月市」の企画・運営

現在 NABEGO は、毎月第 2 日曜日に高鍋駅で開催している、食とアートをコンセプトとしたイベント「かぐちの月市」の企画・運営を中心に活動しています。

「かぐちの月市」の準備は、「お店班（出店者募集や出店の選定等）」「イベント班（イベントの企画等）」「PR 制作班（SNS を活用した広報等）」「次月班（次回の企画等）」の 4 班に分かれて進めており、各班のリーダーは毎回交代制です。活動全体の方向性をメンバーと共有しながら進め、生徒一人ひとりが主体的に取り組めるよう、日々工夫されています。

毎週行われる定例ミーティングでは、前回開催時の反省をもとに次回の企画を話し合い、高校生ならではの視点や SNS の活用で、より魅力的な「かぐちの月市」を目指しています。



@TSUKIICHI_KAGUCHI

▲かぐちの月市
Instagram はこちら



▲かぐちの月市では、高校生が講師役を務めるレザークラフト体験など、来場者がアートに触れられる企画を用意しています。



▲毎週行っている会議の様子

「かぐちの月市」の企画・運営

「かぐちの月市」には、蚊口地区をはじめ町内外から多くの方が訪れます。イベント当日は、高校生がお花屋さんや飲食店に代わって販売を行ったり、お客さんが体験するアート作品作成のお手伝いを行ったりしています。メンバーにこれまで運営をしてみての感想を聞いてみると、「お客さんに『ありがとう』と言われることにやりがいを感じます。今後はもっとアート活動にも挑戦したいです。」「『高鍋のいいところは？』と聞かれたときに、『地域交流がある“かぐちの月市”があるところ』と胸を張って言えるよう、これからも頑張りたいです。」と、楽しみながら真剣に取り組む姿から地域を思う高校生たちの熱い想いが伝わってきました。



▲かぐちの月市開催の様子



アクション! TAKANABE

高鍋町で活動する様々な団体を紹介!

■ 高鍋町ジュニア・リーダークラブ

高鍋町ジュニア・リーダークラブ（JLC）は、中学 1 年生から高校 3 年生までのメンバーで構成されたボランティア団体です。夏休みに開催されるわくわく子ども教室（夏クラブ）では楽しく遊べる企画を実施したり、高鍋町子ども会リーダー研修では参加者のサポートを行ったりと、子どもたちのリーダーとして、子ども会や地域行事を支援しています。

中学 3 年生の頃から活動に参加している、高鍋高校 3 年生で同クラブの会長を務める本田さんは、活動の魅力について次のように話します。

「JLC の楽しさは、大人に指示されるのではなく、自分たちで企画から運営までを進められるところです。人前に出るのが苦手な子でも、ほかのメンバーとの交流や活動を通じて、少しずつ自信がついて、外に向かっていけるようになります」



▲高鍋町二十歳のつどいでの受付ボランティアの様子。



▲夏クラブでは、自らプログラムを考えて参加者を楽しませます。

ジュニア・リーダークラブでは、クラブ内はもちろん、他市町の JLC との交流もあり、学年や学校、自治体の枠をこえたつながりが生まれることも大きな魅力です。活動に興味のある方は、ぜひ見学や体験にお越しください。

■ レクリエーションを依頼したいときは？

JLC では、町内の子ども会を対象とした出張レクリエーションを実施しています。ご依頼・ご相談は、高鍋町社会教育課生涯学習係（☎23-3326）までお気軽にお問い合わせください。

■ 入会したいときは？

町内在住の中学 1 年生から高校 3 年生であれば、どなたでもご参加いただけます。入会をご希望の方は、高鍋町社会教育課生涯学習係（☎23-3326）までお問い合わせください。



皆さんの入会をお待ちしています！

企業版ふるさと納税

6月、株式会社国土開発コンサルタント様からご寄付をいただきました。この寄附金は高鍋町のまち・ひと・しごと創生推進事業のうち、高鍋町のまちの魅力創造事業、新しい時代の流れを力にする事業として、地域内の DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に活用させていただきます。



5月、株式会社山崎紙源センター様からご寄付をいただきました。この寄附金は高鍋町のまち・ひと・しごと創生推進事業のうち、まち・ひと・しごと創生の力強い推進のための取組事業、新しい時代の流れを力にする事業として、高鍋町の新たな取り組みに活用させていただきます。





津波が来たら高台へ 津波避難訓練実施

5月25日、南海トラフ地震を想定した津波避難訓練が実施され、町内26地区で961人が参加しました。訓練では、放送の指示に従って各地区で決めた避難場所へ避難しました。

指定緊急避難場所の一つである高鍋東小学校では、周辺住民やグラウンドで練習中のスポーツ少年団の児童も参加し、避難経路を確認したほか、防災士による講話を通じて災害時の対応について学びました。

高鍋町の有機農業について知ろう

6月1日、TSUTAYA たかなべ店で「たかなべオーガニックってなんだろうフェス」が開催されました。これは町での有機農業の推進・啓発を目的としたもので、環境にやさしい農法で作られた農産物のプレゼントや販売、地元食材を使ったデリカフェの出店などが行われました。

また、高鍋高校、高鍋農業高校、県立農業大学の学生や町の認定農業者らによる「食と農の未来を考える座談会」も開かれ、食や農への理解を深めました。



公共交通機関の使い方を学ぼう

6月25日、高鍋西小学校の4年生を対象に、バスの乗り方教室と蚊口浜での清掃活動が行われました。

児童たちは、宮崎交通のバスに乗って蚊口浜へ向かい、車内では担当者から乗車マナーや運賃の支払い方、安全な乗り降り方法などの説明を受けました。現地に到着後は、海岸のごみ拾いなどの清掃活動に取り組み、公共交通や地域環境への理解を深めました。

ヤマト運輸株式会社と包括連携協定

6月26日、町とヤマト運輸株式会社による包括連携協定の締結式が行われました。

この協定により、ヤマト運輸は地域運送の担い手として、災害時の物資輸送や、配送業務中のドライバーによる地域の見守り活動といった防災・災害等の支援や地域の安全・安心に関することなどの多方面で町と連携した取り組みを進めていく予定です。



町内事業者が奉仕作業 水道週間

6月5日、高鍋町管工事業者組合は、町内の小学校2校と蚊口海浜公園で奉仕作業を実施しました。

この奉仕作業は全国水道週間にあわせて毎年実施しているもので、参加した組合員は、校内の蛇口や排水設備の点検・修理を実施し、児童が安心して水道が使える環境の整備に取り組んだほか、蚊口浜を訪れるサーファーが利用するシャワー室のシャワーホースの取り替え等を行いました。



持続可能な社会へ「SDGs未来都市」に選定

6月23日、町は、SDGsの達成に向けた優れた提案が評価され、内閣府より2025年度「SDGs未来都市」に選定されました。

選定を受け、町では、先人の起業家精神を学び、若者がSDGsの視点から事業創出に挑戦する「歴史と文教の城下町」の実現を目指し、地域一体となった人材育成や新産業の創出に取り組んでいきます。

花を育てて思いやりの心を「人権の花」運動

6月13日、町内の中学校で人権の花運動が実施されました。

この運動は、町や関係機関が連携し、人権への理解を深める啓発活動として行われているもので、子どもたちが花を協力して育てることで、生命の大切さを感じ、思いやりや優しさなど、豊かな心を育むことを目的としています。当日は、代表の生徒が人権擁護委員協議会会長および人権擁護委員等から花の苗を受け取り、花の栽培を通して人権への理解を深めていきたいと感謝の言葉を伝えました。



歴史と文教の城下町 高鍋町へようこそ

6月30日から7月7日にかけて、高鍋高等学校にアメリカの高校から留学生13人が訪れました。滞在中は高校での授業を体験したほか、町内の小・中学校でも交流授業に参加し、日本の学校生活にふれました。

また、日本文化を学ぶ校外学習では、二ノ丸文教歴史館を見学した後、町役場を訪れ、甲冑を身に付けて記念撮影を楽しむなど、地域ならではの体験を通して交流を深めました。





赤ちゃん写真コーナー！



まちの宝、高鍋の赤ちゃんあつまれ！今回は5月・6月の9・10か月健診に来てくれたお子さんをご紹介します！

いのうえ やづき ちゃん



おぐら みか ちゃん



かねこ のあ ちゃん



かわの みつき ちゃん



たかはし いろは ちゃん



つばさ ともひろ ちゃん



つるい はると ちゃん



とびた けんしょう ちゃん



よしだ りおか ちゃん



あべ かなみ ちゃん



いわい みこと ちゃん



かねこ りの ちゃん



たうら ふえいぼ ちゃん



はば いぶき ちゃん



やぶおし りゅうが ちゃん



100歳おめでとうございます！



これからどうぞお元気で毎日
をお過ごしくださいね！

森 サトシマン

編集後記

例年になく早く梅雨が明け、本格的な夏が訪れました。これから夏祭りや夏休みを楽しむ子どもたちの元気な声で、まちがにぎわう季節がやってきます。高鍋湿原や蚊口浜に出かけて、自然観察やキャンプを楽しむのもいいですね。熱中症に気をつけながら、高鍋町の夏を元気に楽しんでいきましょう。

広告

トラクター・重機・トラック・農機具

LINE 査定
できます！

どこよりも高く
買い取る
ことを
目指して!!

インスタ
はじめました

広報紙を見て、ご連絡下さった方へ粗品、又は買取額 10%UP 致します。どこでも
駆け付け
ます！

TEL 0986-77-9092 古物商許可 第951040015111号

農機具高価買取専門店
アヴァンティ

〒885-1105 宮崎県都城市丸谷町
携帯：080-3375-9750
https://kaitorimiyazaki.jimdo.com

見積り
無料

2025
7
No.455

川 報 川
たかなべ
KOHO TAKANABE

高鍋町公式 SNS 一覧

高鍋町

検索



↑高鍋町
ホームページ

編集・発行 / 宮崎県高鍋町（デザイン・構成 / ストロールデザイン）

〒884-8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江 8437

地域政策課 ☎ 26-2018

*「広報たかなべ」は2カ月に1回、奇数月に発行しています。

町ホームページでもご覧になれます。

町では、財源の確保のために有料広告を掲載しています。広告内容は町が推奨するものではありません。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。